

こんなことができます!

子どもの体力、 運動能力向上の 取組をサポート します



夢

福島の子供たちの体力、
運動能力を向上させたい!

人間発達文化学類

小川 宏

OGAWA Hiroshi

教授 体育学修士

専門分野

スポーツ哲学、スポーツ教育学

特許情報、著書、論文

震災前後の福島の子どものたちの体力・運動能力はどうなったか?
(子どものからだと心白書2013)



児童・生徒の体力低下が叫ばれている現在、体育が果たす役割はとて大きくなっていきます。特に福島県では、東日本大震災による原発災害の影響から、一時期屋外での運動を制限したことが、子どもたちの体力低下や肥満率上昇に拍車をかけたと考えられています。これらの状況を改善すべく、福島県の小学生の体力、運動能力向上、肥満率減少のために学校、地域ができることについて調査、研究を行っています。

想定するパートナー

県教育委員会、小学校、地方自治体など

具体的な連携、事業化のイメージ

体力向上方策の計画、立案、効果検証、改善策検討など

これまでの取組事例

福島県教育委員会と共同して運動プログラムを開発し、DVDと解説書を作成して県内の全小学校に配布しました。その後プログラムの効果について調査研究を行いました。

教育
学習支援

健康
福祉
防災
都市計画
地域
産業振興

食・農

経営支援

ファイナンス

人材育成

法律

ライフ
サイエンス

情報通信

環境

ナノテク
材料

エネルギー

ものづくり
技術

社会基盤

フロンティア

